

和歌山病院での実習を終えて



川村 晃大

今回呼吸器内科でのポリクリの一環として、和歌山病院で実習させていただきました。和歌山病院には結核病棟があり、陰圧換気や陽圧換気について直接体感することができました。4回生の勉強の中でそれらについて学ぶことはありましたが、体感することでより忘れにくくなったのではないかと感じています。また、結核病棟に入るために、N95マスクを着用する機会があり、その際に駿田副院長にN95マスクのつけ方を教えていただいたことで、和医大にて気管支鏡の検査を見学する際に、手間取ることなくつけることができました。ほかにも、教科書でしか見たことのなかった結核の画像所見を見せていただいたおかげで、知識が深まったと感じています。

南方院長には正常の胸部レントゲンの見方を教えていただきました。今までも他科のポリクリにおいて胸部レントゲンを見ることはありましたが、きちんと正常を理解していないために異常がわからず、所見は写すだけになっていました。そんな中での南方院長による講義により、すべてではないですが正常を理解することができ、どういったところに着目すればよいかわかり、今後のポリクリに生かしていきたいと思います。そのほかにも、肺の区域を身体に覚えこませる、ブロンコ体操を教えてくださいました。胸部レントゲンも肺の区域もどちらも苦手で、4回生のテストの際には無理やり覚えては忘れ、結局テスト当日はあやふやな知識といった状態でした。実習を終えた後も忘れないうように復習として継続しようと思っています。

ほかにも人工呼吸器や酸素マスクなどの普段体験できないようなことも体験させていただきました。一度こうした体験をすることで患者さんの気持ちが少しでも理解できるようになるのではないかと感じています。

最後になりますが、南方院長、駿田副院長をはじめ、お忙しい中実習に携わっていただいた方々、本当にありがとうございました。